

● 檜山沖洋上風力発電導入に向けた動き

管内ではこれまで、恵まれた風況を活かした陸上風力発電が積極的に行われており、管内の再生可能エネルギー種別導入量は、風力発電が最大となっています。

また、洋上風力発電については、令和3年に「檜山管内洋上風力事業推進協議会」が設立され、洋上風力発電の誘致に向けた取組が進められてきました。

令和7年7月には、国から檜山沖が再エネ海域利用法に基づく「促進区域」に指定され、地域と共生した再生可能エネルギーの導入に向けた動きが進んでいます。

● 洋上風力発電を契機とした地域経済活性化

洋上風力発電は、施設・設備の建設工事や工事関係者による宿泊・飲食需要、物流の増加など、地域経済への大きな波及効果が期待されます。

また、洋上風力関連産業は裾野が広く、各種工事や部品供給、施設・設備の保守点検など多くの分野において地元企業にも参入の可能性が期待されています。

管内において、洋上風力発電への期待は高く、振興局では、洋上風力発電事業をはじめとするGX産業分野における地元企業の参入促進や関連産業の集積を目指す取組を推進するため、令和7年7月にGX産業推進室を新たに新設し、関係各町及び経済団体等を対象とした勉強会の実施や、国内で先行して導入が進む地域の取組事例の情報収集など、地域と共生した再生可能エネルギーの導入を契機とした地域経済活性化を目指すための取組を進めています。

● 檜山地域一丸での取組

管内各町では、太陽光、地熱、水力、風力といった豊富な再生可能エネルギーを活用したゼロカーボンの取組を積極的に進めています。

また、檜山振興局が事務局となり、官民合計43の団体・企業で構成する『ひやまゼロカーボンネットワーク』を組織し、ミーティング・勉強会の開催、メールマガジン等による情報発信、相談対応等を通じて、情報の共有や地域における脱炭素プロジェクト創出のきっかけづくりなどを行っています。

※団体・企業数は、令和7年12月1日現在の数字



洋上風力発電の導入を検討している海域概要図



ネットワーキングセミナーの様子



ひやまゼロカーボンネットワークの様子

数字で見る檜山

●再生可能エネルギー種別導入量(令和5年度)

(単位：万kW)

	太陽光	風力	中小水力	バイオマス	地熱	廃棄物	合計
檜山	0.9	18.1	0.4	0.00	0.00	0.00	19.4
全道	244.9	122.8	76.4	42.5	2.9	24.1	513.6

※出典：道経済部GX推進局GX推進課

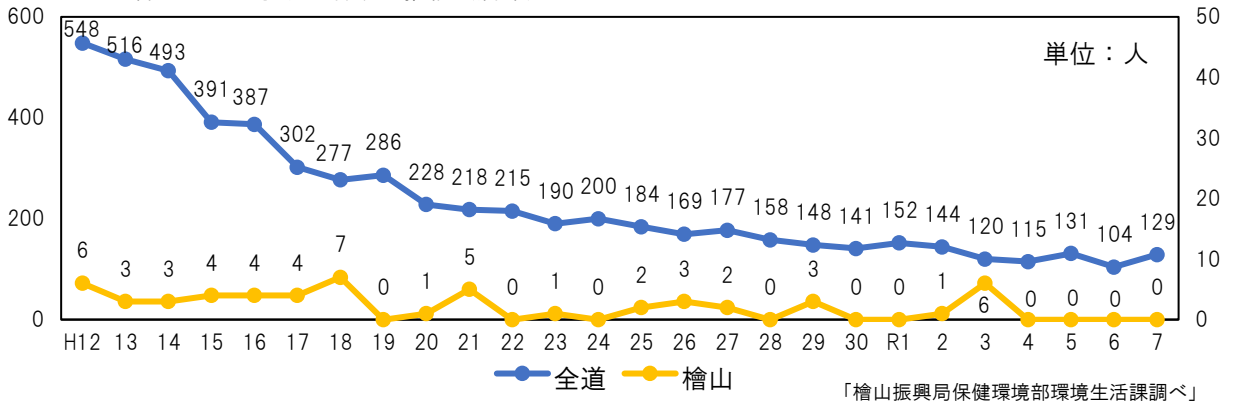
令和7年の道内における交通事故死者数は、前年比25人増の129人でした。檜山管内では15件の人身事故が発生しましたが、交通事故死者数は前年に引き続き0人で、令和7年4月7日には、上ノ国町で交通事故死ゼロ6,000日を達成しました。

振興局では関係機関と連携し、街頭啓発活動や飲酒運転根絶決起大会の開催など、交通安全の啓発に取り組んでいます。



「飲酒運転根絶の日」檜山地区決起大会の状況

●全道及び管内の交通事故死者数の推移（暦年）



「檜山振興局保健環境部環境生活課調べ」

数字で見る檜山

hiyama2026

●管内町・振興局別人身事故発生状況（暦年）

区分	事故発生件数		死者数		負傷者数	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
江差町	1	3	0	0	1	3
上ノ国町	1	1	0	0	1	3
厚沢部町	1	3	0	0	1	3
乙部町	0	2	0	0	0	2
奥尻町	0	0	0	0	0	0
今金町	1	3	0	0	1	3
せたな町	4	3	0	0	4	3
檜山計	8	15	0	0	8	17
空知	385	375	9	12	482	431
石狩	5,135	5,012	26	35	6,045	5,796
後志	248	218	10	7	312	272
胆振	669	610	8	8	781	700
日高	47	31	0	3	54	33
渡島	538	602	5	7	650	741
上川	658	663	11	12	774	754
留萌	33	30	1	2	37	35
宗谷	32	30	2	1	39	34
オホーツク	219	226	8	17	266	257
十勝	442	388	14	15	474	429
釧路	290	247	10	6	326	297
根室	39	28	0	4	49	31
北海道	8,743	8,475	104	129	10,297	9,827
全国(概数)	290,895	287,236	2,663	2,547	344,395	338,294

●全国の交通事故死者数（年間ワースト順位）

暦年/順	1	2	3	4	5
R7	神奈川	東京	北海道	埼玉	千葉
('25)	139	134	129	125	122
R6	東京	愛知	千葉	大阪	埼玉
('24)	146	141	131	127	113
R5	大阪	愛知	東京	北海道	千葉
('23)	148	145	136	131	127
R4	大阪	愛知	東京	千葉	兵庫
('22)	141	137	132	124	120
R3	神奈川	大阪	東京	千葉	北海道
('21)	142	140	133	121	120
R2	東京	愛知	北海道	神奈川	千葉
('20)	155	154	144	140	128
R元	千葉	愛知	北海道	兵庫	東京
('19)	172	156	152	138	133
H30	愛知	千葉	埼玉	神奈川	兵庫
('18)	189	186	175	162	152
H29	愛知	埼玉	東京	兵庫	千葉
('17)	200	177	164	161	154
H28	愛知	千葉	大阪	東京	北海道
('16)	212	185	161	159	158
H27	愛知	大阪	千葉	神奈川	北海道
('15)	213	196	180	178	177

「檜山振興局保健環境部環境生活課調べ」

● 自然

管内には、「檜山道立自然公園」と「狩場茂津多道立自然公園」の2つの道立自然公園があり、雄大な自然の中で悠久の時の流れを感じることができます。

海岸地域では、強風と波浪によって形成された奇岩や変化に富んだ海岸の景観が随所に見られます。また、道南の最高峰「狩場山」では様々な高山植物群落を楽しむことができます。

区分	檜山	狩場茂津多
指定年月日	昭和35年 (1960年) 4月20日	昭和47年 (1972年) 6月23日
指定面積	17,073 ha	22,647 ha
関係町	江差町、上ノ国町、 乙部町、奥尻町、 八雲町(熊石)(※)	せたな町 島牧村(※)

※八雲町は渡島総合振興局管内、島牧村は後志総合振興局管内



三本杉岩（狩場茂津多道立自然公園）



かもめ島（檜山道立自然公園）

● バードウォッチング

日本海に面した江差町の「かもめ島」は、季節を問わず、131種類の野鳥が観察できる探鳥地です。

振興局では、江差町内の道の駅などの観光拠点に、観察記録を画像で紹介するデジタルフォトフレームを貸し出し、野鳥の素晴らしさを発信しています。



デジタルフォトフレーム

● ヒグマ対策

年により出没数の増減はありますが、ヒグマの生息数が多いこの地域では、毎年、人の日常生活圏での出没が確認されるなど、人とヒグマのあつれきが生じています。

振興局では、電気柵の貸出、人の生活圏にヒグマが出没した場合を想定した演習、小中学生を対象とした出前授業、地域住民への普及啓発を行うなど、ヒグマに対する地域対応力の強化を図っています。



ヒグマ出前授業

数字で見る檜山

hiyama2026

● ヒグマ出没件数

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
件数	221	265	249	244	253	216	311	166	691

※R7年度の数値は、令和7年12月末日の速報値

「檜山振興局保健環境部環境生活課調べ」

●災害と防災態勢

平成5年7月12日に発生した北海道南西沖地震では、奥尻町を中心に、死者・行方不明者219名を出すなど、檜山地域は甚大な被害を受けました。

近年では、平成30年9月6日に発生した胆振東部地震（檜山管内の最大震度4）や令和4年8月に檜山管内で大雨による被害が発生するなど、大規模災害が発生しています。

檜山振興局では、管内各町をはじめ函館地方気象台や陸上自衛隊第28連隊など防災関係機関と連携を取りながら、災害発生時の対応にあたりとともに、管内各町の協力を得ながら、防災対策の拡充に取り組んでいます。

自衛隊災害派遣の状況

期間	場所	内容
R2.5.31	今金町	行方不明捜索
H25.8.18~19	厚沢部町	給水支援
H24.11.5~7	せたな町	行方不明捜索
H23.4.14	上ノ国町	行方不明捜索



自衛隊給水支援（厚沢部町）

各町の消防団の状況（単位：団、人）

町名	団名	分団数	団員数
江差町	江差町消防団	7	121 (〇)
上ノ国町	上ノ国町消防団	9	106 (〇)
厚沢部町	厚沢部町消防団	3	88 (〇)
乙部町	乙部町消防団	4	81 (〇)
奥尻町	奥尻町消防団	4	71 (〇)
今金町	今金町消防団	2	81 (〇)
せたな町		10	187 (7)
	せたな町北檜山消防団	4	82 (〇)
	せたな町大成消防団	4	51 (7)
	せたな町瀬棚消防団	2	54 (〇)
合計		39	735 (7)

R7.4.1現在

() 女性団員数で内数

「檜山振興局地域創生部危機対策室調べ」

●消防

消防の体制は、檜山広域行政組合消防本部と管内の7消防署と4出張所の消防士156名と地域住民による9消防団735名で、消火や救急救命などにあたり、日夜、地域住民の生命・財産を守っています。

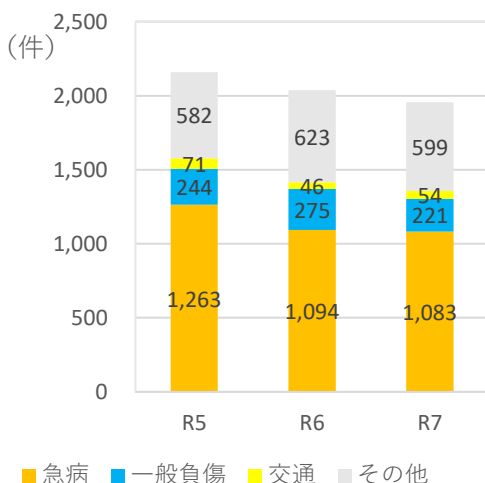
●自主防災組織

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地域住民が自発的に防災活動を行う町内会などの組織です。災害時には、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などで助け合う「共助」がとても重要です。

数字で見る檜山

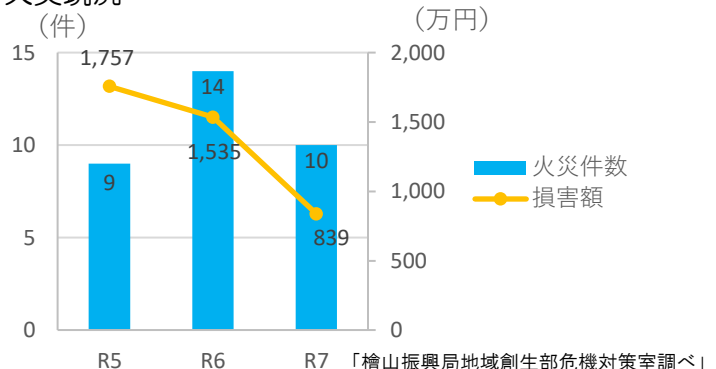
hiyama2026

●救急出動状況



「檜山振興局地域創生部危機対策室調べ」

●火災現況



「檜山振興局地域創生部危機対策室調べ」

●自主防災組織率

	全国 (%)	北海道 (%)	檜山 (%)
R5	85.4	75.6	62.5
R6	85.4	76.9	62.4
R7	85.9	80.3	59.1

「檜山振興局地域創生部危機対策室調べ」

管内の道路は、太平洋側の函館市に通じる国道227号線や、管内を南北に縦断する国道229号線など、他地域に通じる国道と道道・町道から構成されています。

都市部との移動時間の短縮が課題となっており、高規格幹線道路である函館・江差自動車道などの早期整備が望まれています。

陸路における公共交通は、平成26年5月のJR江差線の廃線に伴い、路線バスや予約バス(デマンドバス)、タクシーで維持されています。

奥尻島は、江差港・瀬棚港とフェリー航路(平成31年度から瀬棚-奥尻航路は休止中)で、函館空港・丘珠空港と航空路で結ばれています。

港湾は、地方港湾として江差港、瀬棚港、奥尻港の3港があり、フェリーの発着、地域産品や生活物資などの移出入の拠点として重要な役割を担っています。



「道道江差木古内線」(上ノ国町)



「路線バス」(函館バス)



「奥尻空港」(奥尻町)



「予約バス」(せたな⇄八雲)



「フェリー」(奥尻港⇄江差港)

●道路の整備状況（令和6年4月1日現在）

	路線数	実延長	改良率	舗装率
一般国道	5	201.6km	100.0%	100.0%
道道	30	408.5km	89.4%	90.5%
市町村道	1,675	1,474.5km	61.4%	53.9%
合計	1,710	2,084.6km	70.6%	65.5%

「道路現況調査」北海道建設部建設政策局維持管理防災課

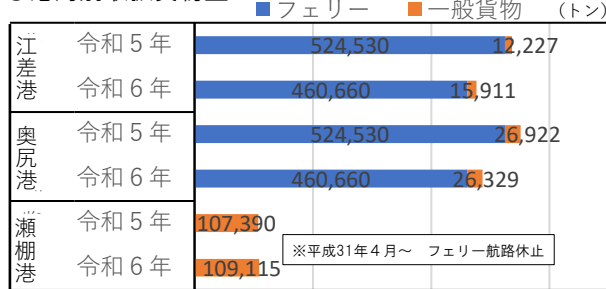
●国道等の状況



●主な公共交通の状況（令和8年1月1日現在）

- 航空機
 - 奥尻⇄函館（1日1往復 所要時間30分）金・日曜運休
 - 奥尻⇄丘珠（1日1往復 所要時間50分）金・日曜運航
 - ※祝日は、運航区間が変更される場合あり
- フェリー
 - 奥尻⇄江差（1日1往復 所要時間2時間20分）
 - ※ゴールデンウィーク・夏季などは1日2往復
- 路線バス
 - 函館江差線〔江差⇄厚沢部⇄函館〕
 - 瀬棚線〔せたな(瀬棚区)⇄今金⇄長万部〕
 - 瀬棚八雲線〔せたな(瀬棚区)⇄今金⇄八雲〕
 - 檜山海岸線〔江差⇄乙部⇄八雲(熊石)〕
 - 江差木古内線〔江差⇄上ノ国⇄木古内〕 ほか
- 予約バス
 - 檜山海岸線〔せたな(大成区)⇄八雲(熊石)〕 ほか

●港湾別取扱貨物量



0 200,000 400,000 600,000
「港湾統計」北海道総合政策部航空港湾局航空課

●奥尻⇄函館・丘珠間 航空路線旅客数

	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
奥尻⇄函館	7,435	7,801	8,695	11,149	10,246
奥尻⇄丘珠	※R3.7～ 運航開始	1,676	3,791	4,236	4,112

「航空輸送統計」国土交通省

●フェリー乗降人員と車両利用台数（令和7年）

※()内は、対前年比増減

区分	人員 (人)		貨物 (台)		
	乗船	バス	トラック	乗用車	計
江差港	22,526(-1,153)	52(+8)	3,915(+115)	3,138(▲199)	7,105(▲76)
奥尻港	23,014(-988)	51(+5)	3,818(+15)	3,073(▲265)	6,942(▲245)
計	45,540(-2,141)	103(+13)	7,733(+130)	6,211(▲464)	14,047(▲321)

「オクシリアアイランドフェリー(株)調べ」